

夏の研修会 実技「粘土をさわりくらべよう」: 研修報告

テーマ

「粘土をさわりくらべよう」

【講師】: 世田谷区立尾山台中学校

中村 みどり 先生

【日時】: 8月2日(木) 13:30 ~ 14:45

【場所】: 中野区立第九中学校 美術室



目的

粘土などによる立体作品は、授業時間数が少ないことや、作品や材料の保管場所の確保が困難なことから、敬遠されがちな題材の一つ。この粘土、実は、色々な種類のものがあり、カタログでは見たことがあるが、実際に使ってみたことがないモノも多い。

今回の研修は、粘土をさわりくらべてみることによって、その可能性について考えようというもの。モチーフを特に決めずに、それぞれの感触を確かめながら、その違いについて研修した。



素材

講師の中村先生は、授業で『ちょーかる M』を用いているそうだ。この素材を選んだポイントは以下のとおり。

生徒が親しみやすい粘土選び

臭わない、汚れない、触感が面白い加工が簡単。

半立体をコルクボードに接着する形式

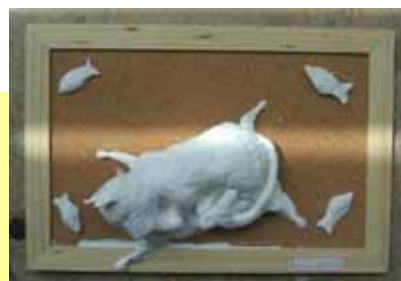
彫刻作品でも壁にかけて飾りたい、軽い、教材費は安く。

達成が得られる制作

彫刻、自分のテーマ、立体の特徴をもつ題材を自由に選ぶ。

学びを生かせる

色の学習の展開が可能



今回の研修会では、下の8つの粘土をさわりくらべた。

	製品名	素材	手触り	加工	心材	値段
	ちょーかる M	紙粘土	軽量 粘りがあり良く伸びる	着色は粘土に 練り込みが可能		220
	天使のねんど	紙粘土	軽量			399
	Wing Silk	紙粘土	軽量 ややしっとりとした質感			399
	プルミエ	軽量石粉粘土	土の質感・量感、やや重い 扱いやすい	乾燥後に彫刻 可能		525
	ラ ドール	石塑粘土	土の質感・量感、重い 乾き易く、粘着力は低い			472
	エコペット	ペットボトル	紙の繊維のようなザラザラ感			290
	ファインアートクレイ	特殊セラミックス	軽量 紙の繊維のようなザラザラ感	乾燥後に彫刻 可能		290
	Clear Clay	樹脂粘土	乾燥後、透明感がある 独特なツルツとした手触り	着色は粘土に 練り込む		420

成 果

今回の研修では、33名の先生の参加があり、充実した内容となった。

はじめてさわる粘土の感触に、どの先生も、驚いている様子だった。

知っているつもりの粘土でも、さわりくらべてみると、その特性の違いは、とても大きなものだった。

最後に、素材や、題材に関する意見・感想を述べ合い、情報交換を行った。

そこでは、以下のような意見・感想が出た。

「ちょーかる」「Clear Clay」は非常になめらかで、制作途中での割れなどのストレスが少ない。

「Clear Clay」は軽くて、強度も見込めるので、工芸作品（キーホルダーなど）に活かそう。

軽い粘土は工芸や壁面半立体作品にはいいが、しっかりとした彫刻作品を制作したい場合、軽すぎて倒れやすい（立ちづらい）ので、あまり向かないのでは？

「ちょーかる」など軽い粘土は、和菓子などを題材に選ぶと、質感が似ていて、想像力が発揮されるのでは？